

ながさき型放牧のすすめ



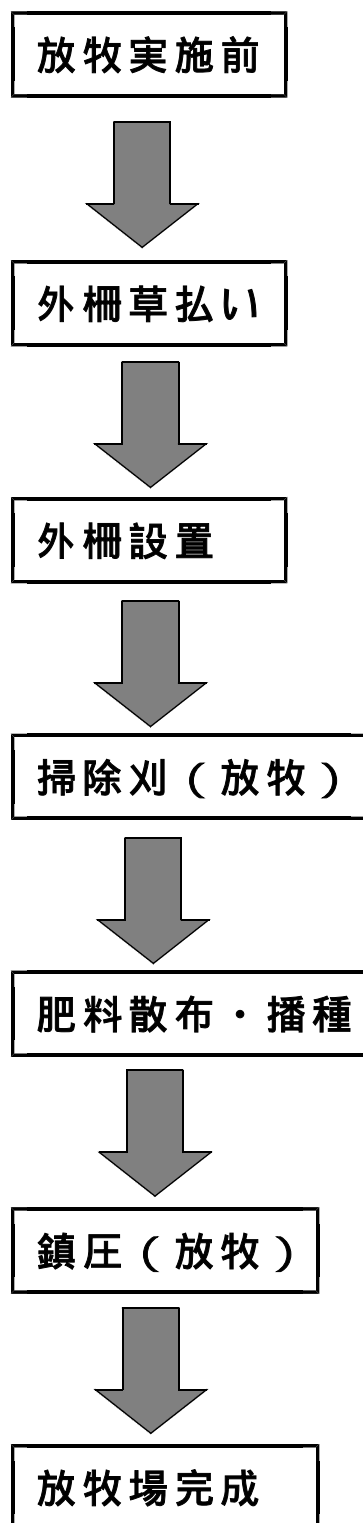
広げよう！

勧めよう！

見せよう！

平成17年3月
長崎県畜産課

簡易な放牧場造成法 (例：耕作放棄地等を牛により造成)



ステップ 1



ステップ 2



ステップ 3



ステップ 4



ステップ 5



ステップ 6



簡易牧柵設置に係る事業費（目安：ソーラー電源）

400～700円/m（事業費/外周の長さ）

（放牧資材が異なるメーカー4社からの聞き取り調査結果）

（事業費算定条件）

放牧場面積：平坦地1ha（100m×100m）

電源本体：ソーラー電源

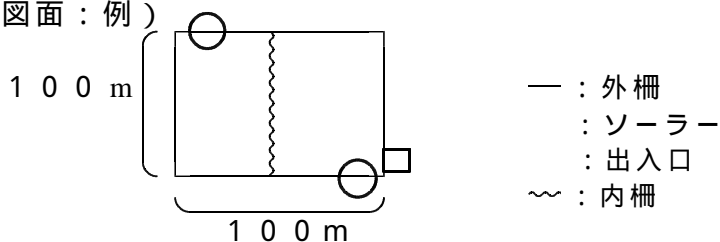
電気牧柵

外柵（支柱間隔：4m、電柵線：2段張り、出入口2箇所）

内柵（支柱間隔：5m、電柵線：1段張り）

その他：資材は塩害に耐えうる資材

（圃場図面：例）



事業費は、面積や傾斜等の土地条件等で異なりますので、設置の際にはお近くの農業改良普及センターや農協へ相談してください。

有害植物の防除

県内で特に注意が必要なもの

アジサイ・アセビ・ワラビ・ウマノアシガタ
オナモミ・キョウチクトウ・モロヘイヤ
ユズリハ・シキミ

対策

除草剤によるスポット処理
（有害植物のみの除草剤散布）

詳しくは、お近くの農業改良普及センターや農協へ相談してください。

家畜の病虫害防除

ダニ対策 ➡ 駆虫薬散布（ハ`イコ`ル・
アイホ`メック・サイテ`クン等）

アブ・ハエ対策 ➡ 忌避薬資材（ヤ`タック等）



詳しくは、お近くの家畜保健衛生所や獣医師へ相談してください。

放牧効果

1 . 飼養管理の省力化（労働時間の短縮）

（県内H農家：肉用牛繁殖経営）

（単位：時間 / 繁殖牛 / 年）

	実施前	実施後	/
飼料給与・調整等	91.0	54.4	60%
除糞・清掃等	7.0	3.4	49%
小計	98.0	57.8	59%
飼料作関係	17.1	8.0	47%
合計	115.1	65.8	57%

飼養頭数：22頭(実施前) 31頭(実施後)

放牧面積：220a

優良事例

労働時間の約40%カット

2 . 生産コストの低減（飼料費）

（県内M農家：肉用牛繁殖経営）

（単位：円 / 繁殖牛 / 年）

	実施前	実施後	/
購入飼料費	80,280	70,389	88%
自給飼料費	15,760	8,000	51%
合計	96,040	78,389	82%

飼養頭数：17頭(実施前) 20頭(実施後)

放牧面積：90a

優良事例

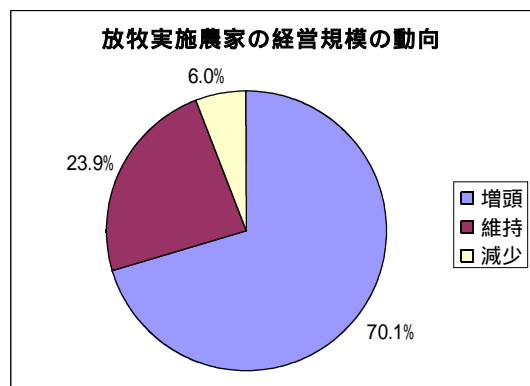
飼料費の約20%カット

3 . 飼養頭数の増頭

（H11～15放牧実施県内計：67件）

	実施前	実施後
飼養頭数(成牛)	100	133.2

注) 実施前を100とした場合の比較



事例集計

繁殖牛の増頭

4 . その他

- ・ 牛のストレス減少
- ・ 発情の早期発見
(舎飼より発情発見が容易)
- ・ 耕作放棄地等の解消
- ・ イノシシ対策
- ・ 消費者に対するイメージアップ

放牧実施農家の声

- | | |
|------|---------------------------|
| 農家 A | 低コストで経営状況が改善されました！ |
| 農家 B | 管理が楽になったので牛を増やしました！ |
| 農家 C | 農繁期の管理が楽々！ |
| 農家 D | 種付きがよくなりました！ |
| 農家 E | 荒れた土地がきれいになり、地域のみみんなも大喜び！ |
| 農家 F | 子供達や観光客が見に来るようになりました！ |
| 農家 G | 管理が楽になったので牛飼い生涯現役でがんばります！ |

皆様から喜ばれています！